

【審査員総評】

本日はお疲れ様でした。

先ほど審査会で、講評を誰がやるのか話し合っていて、正直頭の中が整理できているわけではないのですが、今回、1団体が申し訳ない結果になってしまっているのですが、その審査の過程でいくつか質問をさせていただいて、正直言いまして、プレゼンテーションが終わった後に言い過ぎたかな、質問しすぎたかなと思いました。ただ、一つのルールに則らないといけないため、先ほどの結果となりました。活動自体は、私はもとより他の審査員の方々も評価されていて、重要な活動ということは審査員全員が一致していました。「はじめの一步活動」部門で応募してくれていたら、違う形の何かだったら、という話も出ていた中での結果なので、何かの機会があれば、活動そのものは重要なので、もう一度ぜひ何かしらの形でまた活動してほしいとか、貫いてほしいなと思います。

活動をする上での審査員から出た個々へのコメントや意見は事務局から後日送っていただけるとのことですので、この場では省きますが長い目で見て、今瀬戸市が行っている「はじめの一步活動」部門や「テーマ型協働活動」部門の協働補助事業に関して、現在、NPOや市民活動団体向けへの補助金というのは、全国各地を見てもかなり減ってきている。このままいけば、ほぼ全ての補助制度がなくなるのではないかと思うぐらい、10年、20年前に比べると減ってしまっています。瀬戸市のこの事業も本当にあと何年続けてくれるか、長く続いてほしいと思っています。

そういう面でも、この補助事業を今回の「はじめの一步活動」部門と「テーマ型協働活動」部門の事業がやはりそれなりの意義を持って成果を出していく必要があるのは確かです。担当であるまちづくり協働課さんはだいぶ苦勞をされて、頑張っているんですけど、なかなかそれを財政を始めとした各部署に納得してもらおうということは難しいことです。そういう上で、このプレゼンテーション審査会の場も瀬戸市で公的資金、税金を使った市民による協働のまちづくりを続けていく上での、一つの重要な1日であったことは確かだと思います。そういう面で、各団体にすごくチャレンジしてほしいな、バックアップしたいな、という思いがある一方で、今回のルールに厳しい、あるいは協働というところがまだかな、という色々な面で点数が変わったというところはあります。

そういう面でも私は審査会というのは単なるセレモニーという位置づけではなく、次に繋がる瀬戸市でのまちづくりの協働事業、あるいは市民団体や市民によるまちづくりを根付かせて広げていくという一つの重要な1日であってほしいという思いを持って、審査に関わらせていただいております。

そういう面でも改めて募集要項にある言葉を見返していただきたいと思います。協働によるまちの課題解決に取り組みませんか？瀬戸のまちを元気にする活動を応援します！市民のみなさんが「協働」により取り組む、瀬戸市における社会課題の解決を目指す公益活動を支援するために、補助金を交付します。瀬戸市をより暮らしやすいまちにするための自由で自発的なアイデアをお待ちしています！「はじめの一步活動」

部門は新たな団体として、まちの課題解決のための活動を開始する市民活動団体を支援します。「テーマ型協働活動」部門は市が提案した社会課題のテーマに対し、自由なアイデアで市との協働による課題解決に取り組む市民活動団体を支援します。

昨年あった団体で「はじめの一步活動」部門に変えた団体さんに関しては、担当課さんが今回は協働事業として手を挙げなかった、だから「はじめの一步活動」部門にされたという話がありました。けれどもやはり協働ということとか、続けることが大事であり難しいということは、改めて色々な事情で難しくなるということも、今回我々身近ですごく感じたことかと思えます。でも、この「はじめの一步」という言葉も改めて大事にしたいと思えます。

だからこそ、先ほどの話に戻りますと、この瀬戸まちの課題解決応援補助金が続いていって、市民団体と行政が一緒になって取り組むということがぜひ続けられるように、今日の審査会を活かしていただきたいし、活かしたいし、成果を発揮してまた来年度以降に予算がついて、またどんどん継続して、あるいは補助金に頼らず自分たちで事業収入を得てビジネス的にならないとダメなんですか、という話がよくありますけど、決してそうではないはずですよ。お金になるのであれば企業たちでやればいい。あえて市民団体として活動する意義というものを、この補助事業の意義である、そうであるならばそれをはっきりと貫き通して、それを大事にするという、団体さんとしてのスタンスですね、その代わりに確実に趣旨に則って、成果を発揮していったいただきたいというふうにも思えます。

話が色々と飛びましたが、1団体さんはぜひ別の機会があったら再度チャレンジしていただきたいと思えますとともに、活動をこれから開始する団体さんにおいては、春の活動成果報告会の時に、次に繋がる希望に満ちた成果を聞かせていただくことを、ぜひ期待しておりますので、本当に今日は1日皆さんどうもありがとうございました。お疲れ様でした。